

# 川原に行こう

こうばる

石木ダムはいらない  
抗議の座り込み応援に通って

させぼ健康友の会



# 石木ダムって？



地図で見るよう川棚川の支流・石木川は川棚川の流域面積の11%、小さな清流です。

石木ダム建設は半世紀も前に計画が持ち上がり、地元のみなさんの「ふるさとに住み続けたい」という願いと団結が建設を阻んでいます。県が主張する石木ダム建設の理由は二つ。佐世保市の水不足解消の利水、もう一つは川棚町の洪水対策、治水です。この二つの理由が根拠のないものだということがはっきりしています。

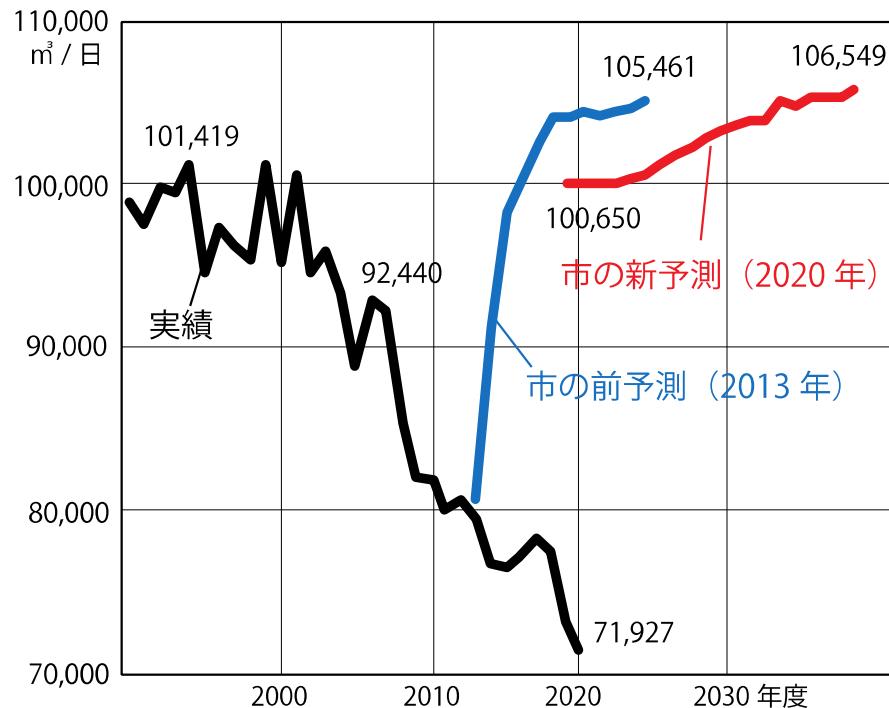
# やっぱり石木ダムはいらない

県は佐世保市の利水と川棚町の治水のためと言っているけど…

## 佐世保市の利水

実績と大きくかけはなれた  
市の給水量予測

佐世保市水道の1日最大給水量の実績と市予測



## 川棚町の治水

石木川は川棚川の支流。  
流域面積は 11%。河口の洪水  
対策にはなりません。

長崎県知事自身が 2014 年に  
「河道整備が完成すれば過去と  
同規模の洪水は石木ダムなしで  
も対処できる」と言っています

# ダム建設絶対反対



松本マツさん  
撮影・村山嘉昭氏  
石木川まもり隊  
ホームページより



ふるさと山河は永遠



自然が残す宝の里

ここにおれば人の  
痛みのわかるもんね



団結小屋



突然大勢の機動隊員と県の職員が住民に襲いかかりました



座り込む女性をごぼう抜きにする機動隊



子どもや女性もダム反対の意志を示しました

## 1982年 強制測量

機動隊を導入して「強制測量反対」を訴える人たちを強制的に排除。  
話し合いも何もあったもんじゃありません。  
川原の人たちはそういう県のやり方をずっと見てきたのです。  
女性たちは「権力って恐ろしかね」と言います。  
だから負けるわけにはいかないと。

写真是「石木川まもり隊ホームページより」



2014年8月  
付け替え道路建設  
に抗議する



## 強制収用は許さない



2015年 アルカス佐世保で集会の後パレード



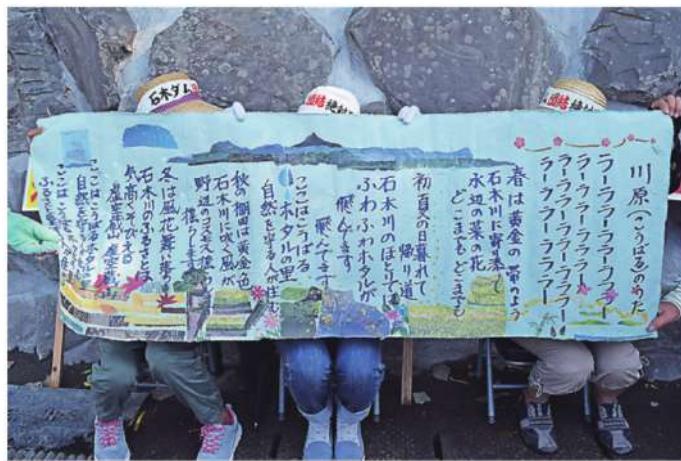
2015年 川原で「強制収用は許さない」



# 炎天下の座り込み

2016年8月

させぼの会員さんがちぎり絵で作った「こうばるの歌」



支援者の中には、ほぼ毎日  
参加している人もいます。



2015年9月  
川原公民館

# 川原のみなさんと交流

させぼ健康友の会 マイクロバスで川原へ

川原のみなさんと交流したい  
会員さんの要望でマイクロバスを借りて  
出かけました。大渴水の記憶からダムは  
必要なのは、と思っていた人も現地を  
見て話を聞いて「石木ダムはいらん！」



お弁当を食べながら交流



川原の女性による「こうばるの歌」

山路を登って座り込み現場へ



座り込む人たちを監視する県職員



## 2018年以降 付け替え道路現場で座り込み

2018年、座り込みは付け替え道路の建設現場に変わりました。ダム本体工事の前に水没する道路の替わりの道路を作ります。山道を登って現場に向かいます。県の職員が監視しています。カメラやビデオで抗議行動参加者を撮影しています。それが彼らの仕事なのでしょうか。





昨年からコロナでできませんが、毎年5月末の土曜日、川原公民館前の広場で「ホタル祭り」が開かれ、たくさんの人たちが集いました。

# ホタル祭り

2018年はマイクロバスで25人が参加しました。川原の皆さんは準備から当日の運営まで大忙しいのしし肉やマムシ酒、藁細工など里山のめぐみもいっぱいです。

もちろんホタルの群舞は素晴らしいですよ。





2019年7月

## 「強制収用を許さない」 長崎県庁行動

県庁ロビーに 200 人が集結。  
要請書を渡すため県知事に  
面会を求めましたが、県は拒否。





2021年1月  
**抗議の座り込み！1000回**

石木ダム工事差止請求控訴事件で地元の岩本さんの意見陳述（抜粋）。  
この3～4年、地元住民とその支援者たちは、真夏の猛暑日も、雨の日も、雪ぶりの寒い日も、朝から晩まで工事現場で座り込みの抗議を続けています。今年の1月12日、この座り込みの抗議行動が通算1000回に達しました。この間、座り込み抗議の参加者は延べ3万人を越えました。その一方で、抗議行動の監視や警備をするために、県側も本庁や出先の機関から毎日数十人が現場に動員され、その人数もこれまで1万5千人以上になっています。



目の前で盛り土作業をする重機



夏を迎えて現場にテントが張られ、支援者もテントの中で座り込み。支える人たちは長崎、大村など各地から参加しています。石木川まもり隊の人たちは佐世保市役所前でスタンディングをしてその後、川原へ。友の会幹事で川棚在住の生月さんは先年石木ダム反対で頑張っていた夫を亡くしました。生月さんは夫の遺志を継いで毎日座り込み現場に通っています。生月さんは「優しくて明るい川原の皆さんに会うのがうれしい。いつも私が励まされている」といいます。その思いは私たちの思いであります。

# みんなで川原に行こう

ここはこうばる ホタルの里  
自然を守る人が住む  
ここはこうばる ホタルの里  
ふるさと愛する人が住む

(こうばるの歌から)

連帯と激励の短冊も沢山  
寄せられています



長崎民医連・各健康友の会  
からの寄せ書きがびっしり  
のタペストリー

